

発行人 関西定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町二一 東興ビル4F
一九八四年 八月 一〇日 第3種郵便物承認 毎月 一、二、三、四、五、六、七、八の日発行 頒佈百円



特定非営利活動法人

とことこニュース

42

挨拶

とことこ理事長 中山 君江

また新しい年二〇一五年が始まりました。皆さんお元気ですか。理事長の中山です。

昨年も色々なことがありましたが、福祉関係はおいてけぼりで、すすんでいないようです。特にこの施設でも介助者不足で、一人の仕事量が増えて健康状態が心配です。そのわりに給料が安いので若い人が続きません。介助料金があまり上がってないので、充分な給料が払えない。

若い人が家族を養えるような給料がもらえるようになればいいですけれど…

平成二十七年一月十八日に 宝塚障害者フォーラム二〇一五が開催されました。

玉木氏の講演もあつてが大勢の方に来ていただきました。ありがとうございました。

障害のある人は地域に、障害のない人も協力していただき、いずれ高齢になったときに、住みやすい町だなあと思えるようになってほしいと思っております。共に頑張りましょう。

そうそう、小さな幸せ見つけたんです。福祉教育で講演させてもらったおかげで、小学生が町角で、おばちゃん、車イスの人も気になるようになったし、信号で声もかけられるようになったので嬉しそうに話してくれました。

交差点で白杖をついている人や信号がわからず困っている人がいたら教えてあげてね、バス停では止まっているバスがどこ行きか教えてね。心のボランティアをお願いします』とお話しているので、実行してくれているんです。

こんな小学生がいる間は、この地域もすてたもんじゃないうれしくなりました。



絵作：きよろりん

「報告」二月十八日「宝塚市の障害者権利条約制定に向けて

「合理的配慮を考える」フォーラムの報告

障問連事務局

障問連ニュースより引用させていただきます

昨年、台風で中止になった表記フォーラムが一月十八日に開催されました。

主催：「宝塚市身体障害者福祉団体連合会」「障害者情報クラブ」

「宝塚市社会福祉協議会」

後援：宝塚市、宝塚市教育委員会

協力：NPO法人とことこ

主催団体を代表して、市議会議員でもある井上聖さんから開会の挨拶が行われました。この間、宝塚市議会での超党派議員による障害のある人もない人も共に安心して暮らせる宝塚づくり研究会により視察や関係団体等の調査が行われ、近々、政策提言をまとめられる等の報告と是非、宝塚市での条例制定を実現したいと挨拶されました。

また中川智子宝塚市長からも、「条例制定は急務」地域の特性や実情に応じた条例を作りたい」そのためにもまず議会と市当局がしっかりと議論するよ、市の職員もしっかりと配置して取り組んでいきたい」と力強く挨拶されました。

その他社会福祉協議会の方からの挨拶も受け、フォーラム前半は、

ハリアリ「司会者としても活躍される玉木幸則さん 西宮市障害者総合相談支援センター長／西宮市自立支援協議会会長の講演、続いて玉木さん、三人のパネラーの方も交えた座談会が行われました。

玉木さんからは、「そもそも福祉とは何か」「障害者がなぜ地域で生きる」地域で働く」と言わねばならないのか」「阪神大震災時の「自身の体験、東日本大震災時に精神障害者から自分生きていていいんですか」と寄せられた手紙に言及した事「虐待と言いつれど本当は犯罪行為」「障害とは何か」「アタリアでは精神科の急性期でも入院日数は四〜五日、でも日本は…」など基本的に視点を中心に話されました。

また、西宮市では全課職員を対象として差別解消法の説明を玉木さんが行われた、今後は学校も含め行政機関が合理的配慮を行わなければ、合理的配慮義務違反として裁判になれば「負けます」、だから裁判しなくていいように話し合い／協議のテーブルを作りましょう、それが条例の意義。

また「自立支援協議会を活用した事例の募集」や市の広報を通じて「合理的配慮の好事例」を積極的に広報してはどうか等、具体的に講演されました。



最後に、会場からの質疑の中で、医療的ケアを必要とする子どもがこの春地域の小学校に就学希望しているが教育委員会は特別支援学校を勧める、そんな事が今でもある事はおかしい、安心して通えるように看護師や介助員の保障、まさにそれかせ合理的配慮ではないのかと意見が上げられ、各パネラーから応援のエネルギーが送られました。

最後に『宝塚障害者フォーラム二〇一五 宣言』が読み上げられた。

宝塚フォーラム二〇一五 宣言

—宝塚市の障害者差別条例の制定は、私たちの悲願!!—

二〇一三年六月十九日に国会で成立した「障害者差別解消法」を基に日本政府は二〇一四年にようやく国連の「障害者権利条約」を批准することができました。

二〇一五年本年は周知活動施行に向けた準備の実施にあてられ、ついでに二〇一六年四月より「障害者差別解消法」が施行されようとしています。その法律に基づき施策の効果的な実行を推進していくためには、それぞれの地域に根差した具体的な施策を実行する「条例」が必要であることは明らかです。このような状況の中、宝塚市政においては国内法を推進するための宝塚市独自の取り組みが見えておらず、私たちの不安は解消されていません。

私たちは訴えます。

一、障害者差別解消法を完全な形で施行させるべく、何が差別に当たるか明確にし、地方行政の立場から様々な事例を収集し、その体制整備をすみやかに進めたい。

二、地方行政の立場から、宝塚市に眼差した具体的な条例を制定して下さい。その制定にあたっては…

障害当事者団体の参加による、審議機関を作り、私たちも条例制定に参画します。

差別を受けた人が相談でき、相手方との話し合いを可能にし、問題解決を図る仕組みを障害者参加を前提で作り、私たちも協働していきます。

宝塚市の障害者権利条例制定の実現を強く求めていくことを、参加者一同ここに宣言いたします。

二〇一五年一月二十八日
以上の宣言が、参加者一同により一緒に読み上げられ、フォーラムは閉幕しました。



宣言文を読み上げる障害者情報クラブ
【Lセンター】
あいえるせんたーさかせ
の障害者スタッフ

☆☆フォーラムに参加した方々の感想や思いを
伝えてもらいました☆☆

宝塚市障害者フォーラム2015に参加して

あいえるせんたーさかせスタッフ 松村 行優

一月十八日(日)宝塚市総合福祉センターに於いて元メインストリ
ーム協会の玉木幸則さんが講師として「障害者権利条例の制定に向
けて」合理的配慮を考えるを聴講してきました。

この障害者権利条例制定は、来年2016年四月に施行される
「障害者差別解消法」を先駆けて宝塚市にも制定を作って差別を無く
し、障害のない人と共に住みやすい街づくりというねらいです。

こんなに日本にも障害者権利が制定されているのは知りませんで
した。

それと二年前の2013年六月に国会で「障害者差別解消法」が
成立する前に、メインストリーム協会の「障害者差別解消法」を成立
させる御堂筋大デモ行進というチラシを見て、思い切ったデモにハル
パーさんと一緒に炎天下の中で難波まで歩いて参加した事がありま
す。

講演の方は、玉木さんの話を聞いていてわかりやすかったです。

昔、車イスで市バスに乗ろうと思ったら、乗車拒否された事や、中
学生の時、初めて車イスで電車に乗ったら子供達にジロジロと見ら
れた事という様々な悔しさや辛い経験があり、その気持ちも良くわ
かります。

合理的配慮については、障害のない人にも一人一人の障害を理解
し工夫してほしいと自分から強く訴えて働きかけていなければなら
ないと思つた。

座談会では、それぞれのパネラーさん達の体験談が面白くもつ
と話してほしかった。

伝える事は、人生に
おいても自分の仕事で
あり、今回の事を参考
にして講師として講演
でしたっかりと伝えてい
きたい。

そして、障害者差別
解消法を使ってどうま
でが差別なのか?いや、
差別ではない、という
基準を誰でも見て正確にわかるように
問題を解決してもらいたい。

宝塚市にも障害のない人にもわかる障害者
権利条例を速やかに作って制定を施行してほしい。



絵作：きよろりん

障害者フォーラム感想

あいえるせんたーさかせスタッフ 香川 稔

玉木さんの話が勉強になりました。いじめの話が勉強になりました。いじめが無くなればいいと思います。

僕が印象に残ったのは、障害者の人も普通の人と同じ」という言葉です。

なぜかという障害者の人も働いているからです。

僕は、バスに乗っていますがバスの運転手では最初、固定具を付けてもらえませんでした。何回も電話して付けてもらええるようになりました。今は、バスの運転手が固定具を付けるのに慣れてくれました。バスが乗りやすくなり、すごく嬉しいです。

世の中がもっと、バリアフリーになれば良いと思います。

エレベーターのボタンが押しやすくなればいいと思います。そうすればもっと他の人が楽になれると思う。

車イスの人も過ごしやすい世の中になれば良いと思います。

障害者権利条例と合理的配慮のフォーラムに参加できて良かったです。

宣言文を読むのは緊張しましたが、うまくできて良かったです。

フォーラムは初めてだったので緊張しました。

フォーラム二〇一五の感想

アイエルセンター山本スタッフ 宮本 登

一月十八日（日）宝塚障害者フォーラム二〇一五に参加しました。

その中で私を感じたことは、障害者の自立という話の中で、障害者同士が結婚して生活するにあたっての一番の問題点は、家を探す時だということでした。

僕も、お互いに障害者で車いすを使用している妻と結婚して十年以上になります。障害者の夫婦だからというので様々なトラブルがありました。

今は、市営住宅に移り近所の方々ともよく普通にお付き合いしています。

障害者が当たり前に生活できる様に出来たら良いと思いました。

フォーラム二〇一五の感想

アイエルセンター山本スタッフ 山崎 宗晴

障害者差別解消法ができて当然の障がい者、地元の人たちがわかっている宝塚市に出来ないうと思う。

良かったことは、市長さんや障がい者の人たちが沢山来ていたことです。

宝塚フォーラムに参加しての感想

あいえるせんたーさかせスタッフ 若松 美沙

『宝塚市の障害者権利条例制定に向けて合理的配慮を考える』に参加しました。

第一部は玉木さんの講演会でした。いつもテレビで見ている姿の玉木さんも面白いですが、実際話を聞いてみるともっと面白く、もっと話を聞きたいと思いました。

第一部は座談会でした。鈴木昌子さん、中山猛さん、井上みえさんの体験談の話を聞き、私がすごく感動したのは鈴木昌子さんの、私は子供が産める体でしたが、結婚する時に夫とだいたい話しあって決めました。でも、周りの人からどうして子供を産まないの？と言われることが多かったし、それが私の一番辛かったことかもしれない。と。という話です。私は涙が出そうになりました。

私は、子供が大好きなでもし、鈴木さんみたいに周りの人に子供は産まないの？と言われたら、すごく落ち込んでしまうかもしれません。これからはそういう思いの人が増えないようになればいいなあと思いました。

私は、最後に『宝塚市権利条例制定に向けて』の読み上げを寺谷さん、香川君と読んでも役割です。すごく緊張しました。特に、私が読む所は全部読み合わせて読まないといけないので結構難しかったです。今回読ませてもらったの良かったです。

今回参加して思ったのは、障害がある人もない人も同じ人間なの

で、障害者はかわいそうとは思わなくてほしいと思います。自分もいい刺激になったし、勉強になりました。

福祉Ⅱ「アール幸せについて思うこと」

あいえるせんたーさかせスタッフ 竹下 浩介

僕は今回、宝塚障害者フォーラムに初めて参加させて頂きました。

僕が印象に残った事は、第一部の玉木さんの講演でのお話の中にあつた僕が国語辞典を見ていたら福祉とは幸せと書いてあり、僕はとても不安になったという部分です。確かにそうだなと僕も思いました。

なぜなら「幸せ」と感じる部分は人によって違うと思うからです。ましてやそれを定義付けするなんて不可能に近い事だと思います。僕なりの答えを出すならば、例えどんな境遇であつたとしてもその人が物事をやりたいと思つた時にやれる環境にある事こそが本当の意味での「幸せ」であり、本当の意味での「福祉」ではないでしょうか。

その福祉の実現のために僕も頑張ってきましたと思います。

アイエルセンターのスタッフ 職員の中で二十歳を迎えた仲間が三名おられます。

二十歳、今年一年の抱負を綴っていただきました。皆さん、希望に満ちたやる気一杯の仲間を温かい気持ちで応援していきますよう。

あいえるせんたーさかせスタッフ 香川 稔

成人を迎えることができました。とても嬉しいですね。

成人を迎えたのでこれからは、アイエルセンターでもっと焼き芋やバザーを頑張っていきたいです。

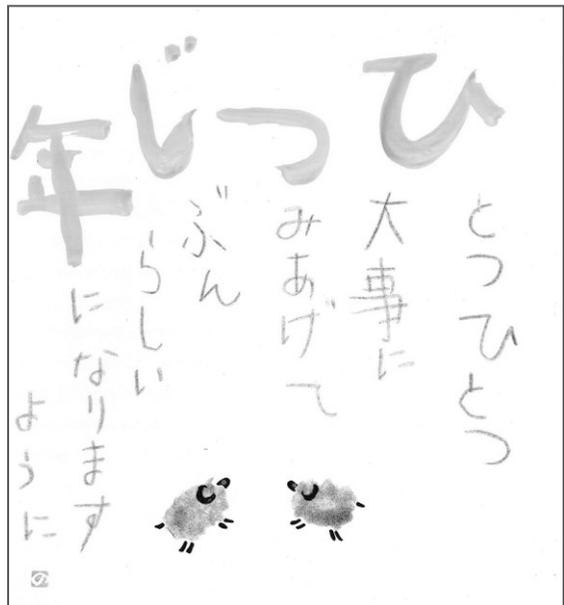
成人式が楽しかったです。宝塚歌劇団などが来ていました。

お笑いライブもありました。友達と会えて良かったです。友達の名前を覚えていました。お酒も飲みたいです。僕が一番楽しかったのは、家族で海外旅行に行った時です。電車とバスも頑張って乗って行きたいです。



絵作：きよろりん

アイエルセンター山本スタッフ 高橋 伸彰



高橋君は色紙を自分で購入して今年の抱負を描いてくれました。

あいえるせんたーさかせ 職員 藤川 了

平成二十七年一月十二日の成人式に行きました。新成人となり大人としての自覚が求められるようになるんだなと成人式では、ぼんやりと考えていました。

自分の仕事にも、責任感を持って取り組んでいかないと成長できないと感じました。

今年の目標の1つに行動する力を上げようと考えています。ただ考えるだけでなく行動に起こさないと変化がでないからです。

仕事にも活かせるような行動力。今年はこれを意識して頑張ります。

皆さんは健康を維持する為になにか心がけていることはありますか？
—100パーセントの野菜ジュースを飲むようになってます。土井
皆、色々と自分なりに毎口努力をこらしているつもりです。...

あーるせんたーさかせ

☆寝る前ににんにく・卵黄のサプリメントを飲んでいきます。明日に備えて疲れも取れて元気になれるからです。 松村



絵作：きよろりん

☆よみ食へて良へ寝る事です。 寺谷

☆なるべく野菜を多く食へる事です。 若松

☆よみ食へる事と良へ寝る事です。 香川

☆栄養があるみかんを食へる事です。良へ寝る事です。 吉原

☆睡眠を多く取り風邪の引き始めは薬を飲むようにします。 竹下

☆週一回プールに行き体を動かす事です。最近では寝返りを自分でして、血液の流れを良くしています。 木村

☆100パーセントの野菜ジュースを飲むようになってます。 土井

☆良へ寝る事です。 宮本恵子

☆食へる事、彫刻をやり体力作りをする事です。 田中

☆歩く事、良へ動く事で風邪かなと思ったらすぐに薬を飲む。 山中

☆青汁を飲んだり、野菜や果物を食べたり、一食減らしたり、運動をしたり、体の血液の流れを良くする事です。 藤川

☆毎日の排便の確認をして出ない時は、牛乳や水を飲む事です。

新田

☆良へ寝る事良へ食へる事です。 武村

アイルセンター山本

☆寝る前に10分だけリン酸を飲んでます。体が温まり、寝つきがよくなります。 樋口

☆夜、寝る前に腹筋をこらします。寝つきが良くなり、心地よへる眼のこらします。 河合

駅前で車椅子でも入れるお店ニュース

JR尼崎編

あいえるせんたーさかせスタツプ 土井 克哉

新年会で利用させていただいた『収穫祭』の他にも、あまがさきキューズモールとその周辺には、沢山車椅子でも入れるお店がありましたのでお知らせします。

あなたがもし、点心が好きなら四階の『台湾小籠包』というお店がおススメです。比較的リーズナブルな値段で、たくさんのお点心メニューが味わえます。店内は広くないですが車椅子約五台なら利用できます。

ご飯の後に美味しいコーヒーが飲みたいという人には、キューズモールの二階にある『にしむら珈琲店』がおススメです。私も利用したのですが、屋根付きのテラス席が二十席以上あり、店内はまあまあ広かったです。接客対応も良く、出入りしやすい席を配慮してくれました。

アミニング潮江プラストビルの四階と五階には、『ラウンドワン尼崎店』があります。

カラオケルームが四階にあり、広いカラオケルームが一部屋あ

ります。そこは、車椅子が三台で利用できるカラオケルームです。料金は平日の十時～十二時迄に受付をする、一般料金フリータイム六三〇円になります。

一～二時～一八時に受付をする、一般料金フリータイム一六〇円になります。土日の料金は一四八〇円です。

障害者割引は、手帳を提示して一〇〇円割引になります。

ボウリング場は五階にあります。料金は平日のゲーム一般料金六三〇円です。土日の料金は六八〇円です。貸シューズは、三七〇円です。ボウリングの投球台は三つあります。

障害者割引は、手帳を提示して二〇円割引になります。

障害者用のトイレは四階と五階、両方に一つずつあります。

キューズモールのエレベーターは沢山あり、中も広いので車椅子でも上下移動が楽に出来ます。

他にも尼崎周辺には、阪神百貨店や雑貨店、服や色々な物を置いているお店が沢山ありますので、皆様も是非利用してみてください。



絵作：きよろりん

特定非営利活動法人とことこ主催 二月十一日(祝)
★地域つながるアイエル祭り★ 開催しました

※地域つながるアイエル祭りとは?※

★地域の方で家に引きこもっている高齢者や障害者に外に出て、活動をしたり、サロンや作業所での仲間作り、遣り甲斐を見つけてもらえるように呼びかける事が目的です。

★地域にある民生児童委員、地区センター、サロン、障害者の作業所等の社会資源がつながるきっかけ作りと、地域の児童や福祉に興味をもってもらいたい事を目的としています。

朝、10時より 養尾ふれあいひろばで開会しました。

開会の挨拶が終わると、地域のサロンの皆様の歌の発表がありました。

ひろばでは、精神障害者の作業所 虹の家の方が作成した授産品販売とわたがし販売、高次機能障害者の作業所【Eg】のコーヒー豆販売、美味しいコーヒーの淹れ方レクチャー、あいわ苑は健康相談をしました。

アイエルセンターは、授産品、焼き芋、コーヒーの販売、駐車場では、バザー販売を行いました。



ぜんざいを約一五〇名近い方々に振る舞いました。

それぞれの作業所が今、取り組んでいる事や、もった障害について理解をして欲しい事などを発表しました。

アイエルセンターは、販売物の紹介だけでなく、地域の小学校へ向き、ボランティアスクール 福祉教育を行っている事、スタッフによる自立までの実体験をスピーチしました。

アイエル祭りは、地域の皆様のつながりの力で沢山の方に来て頂き楽しんで頂き、大成功で幕を閉じました。これも皆様の一人一人のつながりの力のお陰です。

今回ご参加、協力頂きました皆様方、本当にありがとうございました。

地域の方が集まっている中で、作業所が自分達の事をアピールする事が出来たので、これからの活動に活かされていける様になれば、今回のイベントを開催した意味があると思います。

あいえるせんたーさかせ職員 藤川了



あいえるをかせに新しく障害者スタッフの竹下君が仲間に加わり
ました。

沢山の先輩に採まねながら毎日切磋琢磨し、少しずつ自分の
事を着実に増やしてゆきます。

これからの成長がともなう楽しみな若いメンバーです。皆さん、一
緒に成長し共に仕事をし、く姿を楽しみにしましょう。

去年の8月からあいえるせんたーをかせの障害者スタッフとして
働かせていただいている竹下浩介です。よろしくお願ひします。

趣味は野球観戦とカラオケで歌を歌うことです。
以前は西宮市にある作業所で働いていました。

今年はボランティアスクールに参加してみたいです。

あいえるでは自分の気持ちをストレートに伝えることを頑張りた
いと思ひます。

そして自分なりのペースで一人暮らしの実現に向けて頑張りつ
ていきたいと思います。



沢山の皆様方に協力をしていただき、とても多くのバザー品が集
まりました。アイエルセンター、あいえるをかせでのバザー販売が大
盛況となりました。

これからも協力いただいている皆様のお蔭です。本当にあり
がたひびきます。今後とも引き続き協力をお願いします。

発行人 関西定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町一丁目 東興ビル4F
一九八四年 八月 二〇日 第3種郵便物承認 毎月 D-113 四五六七八の四 発行 領価百円

特定非営利活動法人とことこニュース

編集人 特定非営利活動法人とことこ
編集部 〒665-0882 兵庫県宝塚市山本南 2-6-5
TEL & FAX 0797-82-2233
E-mail sjcil@hotmail.co.jp

【アイエルセンターへのご寄付の方は下記に振込をお願いいたします】

池田銀行 山本支店 普通 28004

特定非営利活動法人 とことこ 理事長 中山君江